

問う

令和3年9月22日、24日、27日に開会した第3回定例会本会議で代表・一般質問を行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、区政全般について、各会派を代表して5名の議員が代表質問を、各会派及び無会派の6名の議員が一般質問を行いました。

以下、その要旨を掲載します。

なお、2次元バーコードから各質問者の録画映像をご覧になれます。

足立区議会自由民主党

足立区に夢と希望を。



自由民主党 ただ太郎 議員



区長のリーダーシップを問う

【問】コロナ対策の取り組みにおいて、区長はリーダーシップを発揮し、区民の安心や信頼を十分に得られているか。

また、コロナ収束に向けた今後の舵取りはどうか。

【区長】 何度も状況が変化する中、スピード感を持ってリーダーシップを発揮しなければならぬと思います、取り組んできました。

しかし、電話がつながらない等、区民の不信や不満は多々あると考えている。感染者数が一定程度落ち着きを見せているが、感染の急拡大に備え、これまでの経験を活かした的確な対応でリーダーシップを発揮していく。

【問】東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開幕した。我が党から要望していた、直接観戦が叶わなかった子どもたちへのレガシー施策は、どのように進めているのか。

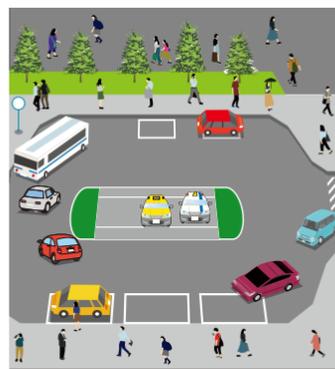
【教育指導】 子どもたち自身が感じたこと等を将来思い出すことができるよう、絵画や工作等自分の得意な形で表現する活動を全校で実施し、優秀な作品は今年度内に表彰したいと考える。

【問】綾瀬駅前交通広場用地的状況は

綾瀬駅前の交通広場用地は、今年3月に締結した覚書によると、同年10月末を目途に区

土地開発公社と開発事業者が土地売買契約を行うとあるが、予定どおり進んでいるのか。

【エリア】 埋め戻し工事も順調に進み、予定どおり売買契約を締結できる見込みである。



今こそ積極的に基金を活用せよ

【問】令和3年7月12日、都に4度目の緊急事態宣言が発令された。変異株の影響等もあり、新規陽性者が急増しているが、今こそ、計画的に積み上げた基金を区民支援の施策に活用すべきではないか。

【政策経営】 これまでの財政運営で一定程度必要な緊急対策を講じるだけの体力をつけてきた。区民生活や区内事業者の実態を見極めて、今だからこそのやるべきことには、基金を積極的に活用し、時期を逸せずに取り組み

肺炎球菌ワクチンを無料にせよ

【問】高齢者の肺炎の20~40%の原因である肺炎球菌感染症は、重症化しやすく危険であるといわれている。これまで高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用約8

千円のうち、区が4千円を助成していたが、都が令和5年度まで2千500円を負担する方針を打ち出した。自己負担ゼロで接種できるように残りの1千500円も区が助成すべきではないか。

【衛生】 高齢者の命と健康を守り、コロナ禍における医療機関の負担軽減のためにも、より多くの高齢者に接種してもらえ

【問】 エアコン購入費補助事業は、65歳以上のみの世帯で住居にエアコンが無い等の方を対象としているが、来年度も継続し、多くの人にエアコン設置補助を

【問】 エアコン購入費補助事業は、65歳以上のみの世帯で住居にエアコンが無い等の方を対象としているが、来年度も継続し、

超少子・高齢社会に於ける社会保障の堅持と医療改革



自由民主党 白石正輝 議員



子どもを産み育てやすい環境を

【問】令和2年の区の高齢者人口の構成比は23区中最上位で、生産年齢人口は最下位だった。

減り現在の社会保障制度は維持できなくなるが、これは出生率の低下が要因である。区は出生率の目標を1.4にしているが、少なくとも国の目標である1.8に近づけるべきではないか。子どもを産み、育てやすい区にするための具体的な方策があるのか。

【工藤副区長】 今年3月に策定した新たな人口ビジョンでは、近年の区及び国や都の合計特殊出生率低下の状況を勘案し、区

の目標値を1.4としたが、第2期

生活困窮者等にも対象を拡大するべきと思うがどうか。

【環境】 継続を前提に関係所管と協議した上で、対象の拡大等補助制度見直しの検討を進める。

【問】 区は待機児の解消を実現したが、保育施設に入所しやすくなることで、幼稚園の利用園児数への影響はどうか。

また、その影響を抑える方策はどうか。

【教育長】 年々、幼稚園の利用園児数が減少している実態は把握している。これまでも保育料や入園料の補助を増額する等、補助内容を拡充してきたが、今後、具体的な支援策について、私立幼稚園協会と議論を重ねる。

【問】 昨年、メタロ・バランス検査とマイクロRNA検査の導入を提案した。メタロ・バランス検査は少量の血液で早期にがんを発見できる。区は率先して導入に取り組むべきではないか。

また、歯科検診や眼科検診も、もつと積極的に取り組むべきだと思いませんか。

【衛生】 メタロ・バランス検査

度を抜本的に変えるべきだと国に要望すべきではないか。

【福祉】 提案のあった3点も含め、特別区介護保険課長会等で十分に検討した上で、引き続き介護保険制度の抜本的見直しを特別区長会や全国市長会を通じて国に対し、強く要望していく。

【問】 昨年、メタロ・バランス検査とマイクロRNA検査の導入を提案した。メタロ・バランス検査は少量の血液で早期にがんを発見できる。区は率先して導入に取り組むべきではないか。

また、歯科検診や眼科検診も、もつと積極的に取り組むべきだと思いませんか。

【衛生】 メタロ・バランス検査

SDGsを推進し、夢と希望を持てる足立区に!!



自由民主党 鹿浜昭 議員



SDGsを積極的に推進せよ

【問】 区長の力強いリーダーシップの下、以前の区のマイナスイメージは大きく様変わりした。

しかし、時代とともに次のステージへステップアップするためには、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」「持続可能な社会」を目指す取り組みにチャレンジすることが重要だ。

国がSDGsの優れた施策を提案した自治体を「SDGs未来都市」に選定する制度があるがエントリしてはどうか。

また、庁内連携を図り、総合的かつ効果的に施策を推進していくための「SDGs推進本部」のような組織横断的な場を設け

等は、検査の精度や検査費用等の課題がある。さらなる情報収集や議論が必要であり、区医師会と協議を続けていく。

また、歯科検診は再勧奨はがきで受診できる仕組みを来年度の実施に向け検討する。眼科検診は、さらに早い段階で糖尿病予防につなげる必要がある45・50・55歳の未受診者への再勧奨を行う等、充実に努めていく。

【問】 経済の発展もSDGsの重要なポイントである。区内の企業活動が活発になれば、子どもたちも働くことに夢や希望を持ち、そのまま足立区で働いて



【問】 経済の発展もSDGsの重要なポイントである。区内の企業活動が活発になれば、子どもたちも働くことに夢や希望を持ち、そのまま足立区で働いて